

【実績の概要】

Ibaraki University Racing(以降 IUR)はフォーミュラカーの製作を通して、ものづくりに必要な設計、製作、評価、製品のプレゼンテーションなどの製品を世に出すための一連の流れを実践的に学ぶ部活動です。

IUR はチーム発足から 21 年目となる歴史の長い部活です。現在、21 名の部員が在籍しており、全員がひとつの共通した目標に向け日々活動しております。IUR では、毎年 9 月に行われる全日本学生フォーミュラ大会への出場に向け、マシンの設計、製作、セッティングに加え、活動に必要な資金や製品の加工依頼等の支援をお願いするための渉外活動等を行っております。大会参加の他にも日立市で開催される市民生活安全フェスティバルや青少年科学の祭典などの地域イベントに参加し、マシンの展示や走行イベントを通して地域の皆様と IUR や茨城大学をつなぐ活動を行っております。

全日本学生フォーミュラ大会では 3 種目の静的審査（デザイン審査、プレゼン審査、コスト審査）と、9 月愛知県国際展示場で開催される 5 種目の動的審査（アクセラレーション、スキッドパッド、オートクロス、エンデュランス、燃費）があり、それらの合計点で競います。動的審査は、

エンジンで走る ICV 部門とモータで走る EV 部門に分けられており、IUR では ICV 部門で出場しました。本年度大会では、動的審査前に実施される車検にすべて通過し、すべての動的審査に出場することが出来ました。

本年度の最終総合順位は 8 位となり、目標としていた総合 Top10 を達成することが出来ました。特にコスト審査では 5 位を獲得し、これはチームの歴代最高順位となりました。また、書類の遅



図 2 車両整備作業



図 3 オートクロスでの走行

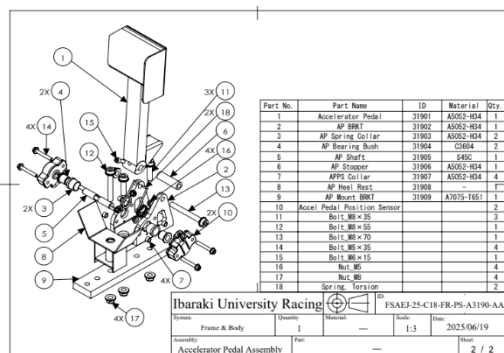


図 1 コスト審査での資料



図 4 集合写真

延・未提出ペナルティなく全種目完走したため特別賞である日本自動車工業会会長賞を頂くことができました。

無事にエンデュランスまで走りきれたのは、IUR を支えてくださったスポンサーの方々や地域の皆様の支えによるものです。IUR は 2026 年度の全日本学生フォーミュラ大会に出場いたしますので、今後とも応援よろしく願いいたします。